

チアダンス界の頂点を目指して！惜しまぬ努力、家族の絆

春木中学校3年生

藤本 梨瑚 さん

今回は、大府市を拠点とするチアダンススクール『SPG CHEER DANCE PROJECT』のメンバーとして、USAオールスターナショナルズ2022全国選手権大会に出場し、『ベストインプレッション賞』を受賞した、藤本梨瑚さん(以下「藤本」表記)にお話しを伺いました。



—チアダンス(チア)を始めたきっかけを教えてください。

藤本 4歳のときに、友達に誘われたことがきっかけでチアを始めました。チアは楽しく踊る一般クラスと競技チアの大会クラスがあります。このスクールで競技チアを始めたのは中学1年生からです。

競技チアとは、チアリーディングからアクロバットなどの要素を除いて、ダンスパートに特化した競技です。

—今大会で受賞した背景には、並々ならぬ努力があったと思います。競技チアで一番重要なことは何ですか。

藤本 メンバー全員の動きをピッタリと合わせることです。全員が激しく動き回る中で、立ち位置やタイミングを揃えることはとても難しいですが、日々のレッスンや自宅でのトレーニングを積み重ねてきたことで、今大会では結果を残すことができました。

—練習はどのくらいしていますか。



藤本 競技チアのレッスンは週3回くらいで、学校のある日は3時間程度、学校が休みの日にはPOMとJAZZという2部門を両立していたので7時間ほど休まず練習することもありました。競技チアは体幹が大切なので、筋力トレーニングなど、基礎練習も欠かせません。

—7時間も！休みたいと思ったことはありませんか。

藤本 ありません。チームの先生から厳しい指導をいただくこともありませんが、私を成長させるためのエールだと考えています。全てを吸収して、大会で結果を残すことが一番うれしいです。ただ、これだけ練習に打ち込めるのは、毎回の練習の送り迎えなど、お母さんを始め、家族のサポートのおかげですので、とても感謝しています。

—決めたことは曲げない強い意志とともに、ご家族との強い絆を感じます。藤本さんの強みを教えてください。

藤本 本番に強いところです。精一杯の練習をして大会に臨んでいるので、大勢の人の前でも自信を持って演技をすることが出来ます。ジャンプも練習時より本番の方が高く跳べていると思います。



—大会を終えて、これからの活動について伺います。

藤本 中学3年生となり受験を控えています。競技チアを優先し、これまで以上に練習を重ねて成長し、まずはチーム編成のセレクションを突破し、トップチームのメンバーとして、仲間とともに全国優勝を狙います。

—努力家で中学生とは思えないほどしっかりしている藤本さん。今後の活躍が楽しみです。